

登録番号	プロトコール名			
C85-133A	濾胞性リンパ腫 G-Benda療法(C2-6)			
診療科	血液内科	1クールの日数	28日	
審査日	2018年11月10日	所要時間	199分	適応外使用 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
適応病名	濾胞性リンパ腫	放射線療法	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
実施部署	<input checked="" type="checkbox"/> 外来、 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟、 <input type="checkbox"/> その他()			
適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 初発、 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発、 <input type="checkbox"/> 術後補助、 <input type="checkbox"/> 術前補助、 <input type="checkbox"/> その他()			
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与法	投与日(d1、d8等)
1	Obinutuzumab(ガザイバ®)・GA101	1000 mg/body	div.	d1
2	Bendamustine(トレアキシン®)・Benda	90 mg/m ²	div.	d1,2
3				
4				
5				
6				
7				
8				
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6)			
ガイドライン文献名	Marcus R, et al.: N Engl J Med: 377, 1331 (2017)			
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	減量は添付文書に従う			

プロトコールに関する解説
プロトコールに関する解説はありません。

がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
濾胞性リンパ腫 G-Benda療法(C2-6)		28日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
day1	1) デキサート 6.6 mg + 生食 50 mL 2) 生食 50 mL(フラッシュ用) 3) ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL (計 250 mL) <1サイクル目の投与でGrade3以上のinfusion reactionが 発現しなかった場合> 25mL/hで開始し、30分後に225mL/hに増量 (30分後の投与速度は最大225mL/hまでの範囲で変更可)。 0.2又は0.22 μ mのインラインフィルターを使用 点滴開始30分前までにカロナール錠500mg2錠と レスタミン錠10mg5錠内服 4) 生食 50 mL(フラッシュ用) イメンドカプセル125mg トレアキシシン投与開始1時間～1時間半前に内服 5) アロキシ0.75mg + 生食 50 mL 6) トレアキシシン 90 mg/m ² + 生食 / 計 500 mL 生食で500mLとなるように調整する。 調製後6時間以内に投与を終了する。 7) 生食 50 mL(フラッシュ用)	div. div. div.	15分 5分 約94分
day2	1) デキサート 6.6 mg + 生食 50 mL 2) トレアキシシン 90 mg/m ² + 生食 / 計 500 mL 生食で500mLとなるように調整する。 調製後6時間以内に投与を終了する。 3) 生食 50 mL(フラッシュ用)	div. div. div.	15分 60分 5分
プロトコール 適応時 表示コメント	day2,3にイメンド80mg1Cap内服。ガザイバ点滴開始30分前までにカロナール錠500mg2錠とレスタミン錠10mg5錠内服。6コースまで。		
照射併用時 照射線量	グレイ (備考欄)		